

豊一市民センター すいた歴史講座

戦後日本と博覧会の歴史



70年万博工事敷地と農作業
(野口昭雄氏撮影)



70年万博会場（西側）
(野口昭雄氏撮影)

令和
八年

2月25日(水) 10:30~12:00

対象者 どなたでもご参加いただけます

参加費 無料

定員 15人(先着)

会場 豊一市民センター 1F 会議室

持ち物 筆記用具、資料を持ち帰る袋

申込 2月13日(金)10:00から 24日(火)まで
電話または直接窓口へ

講師 藤田 裕介氏 吹田市立博物館 学芸員

担当は日本近現代史。明治以降の吹田地域がどのような変遷を経て現在に至ったのかを研究対象とされており、地方自治や政治など、さまざまな視点やキーワードを通して地域の歴史を考察されています。

▶お申し込み・お問い合わせは

吹田市立 豊一市民センター

TEL 06-6384-1290

吹田市垂水町1丁目53-7(〒564-0062)

アクセス：大阪メトロ御堂筋線「江坂駅」下車 徒歩15分

阪急千里線「豊津駅」下車 徒歩15分

*一般来場者用の駐車場はございません。
身障者用駐車場の利用を希望される方は事前にお申し出ください。

日本では戦前から現在に至るまで、数多くの博覧会が開催されてきました。今回の講座では、戦後復興期から「愛・地球博」に至るまでの博覧会を取り上げます。具体的には、七〇年万博をはじめとする万国博覧会、神戸ポートアイランド博覧会などの地方博覧会を紹介し、それらがどのように開催され、社会とどのような関係にあったのかを考察します。そして、大阪・関西万博が閉幕した今、改めて博覧会の意義を振り返り、未来に向けて考える材料を提供したいと思います。